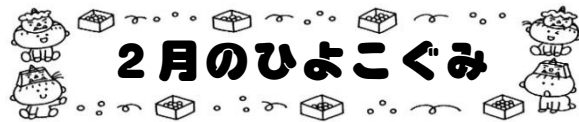


ひよこのいっぽ

早いもので、ひよこ組も残り一か月となりました。鼻水や咳が出ているお友達もいますが、毎日、笑顔と元気がいっぱいの子ども達です。これからも、一人一人の成長を喜び、見守りながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思ひます。



2月のひよこぐみ

朝、みんなが登園してからは、ホールで朝の歌を歌ったり、挨拶をしたりしています。その中で、出欠のお返事をする時間がありますが、ひよこ組の子ども達の名前を呼ぶと、保育教諭の顔をパッと見たり、手を挙げたりと、自分の名前に反応して応えてくれます。「お返事できたね！」と声をかけると笑顔になり、とっても嬉しそうです。歌や挨拶も、身振り手振りで真似ながら、お兄ちゃんお姉ちゃん達と一緒にしてとても可愛いです。毎日の繰り返して学んでいる姿に感心します。

走ったり、歩いたりして身体を動かすことが大好きなひよこ組の子ども達。ホールでの“リズム”の時間には、ピアノの音に合わせて、ウサギ、トンボ、カメ、ウマなどになりきって手足を使って身体を動かしています。大きいクラスのお友達を真似て走ったり、保育教諭と手を繋いで動いたり、元気に身体を動かして笑顔いっぱいの楽しい時間です。また、月齢の小さなお友達は、保育教諭が抱っこしながら一緒に動いたり、ピアノの音が鳴る中で、自由にハイハイしてみたりと、のびのびと身体を動かして、心地の良い時間を過ごしています。



2月3日の節分の日には、ホールで豆まきをしました。豆まきには自分で作った鬼のお面をかぶって参加しました。紐にぶら下がっている色んなお顔の風船鬼や、ダンボールで出来た鬼に向けて、事前に園のみんなで作った新聞ボールを当てたり、投げたり、置いてみたりと、子ども達が自由に豆まきを楽しみました。ダンボールの鬼が近付いてくると、ビックリして涙が出たお友達もいますが、節分の雰囲気を楽しみながらみんなで参加することができました。

